

■ はじめに

皮膚や耳のケアは、一次予防（健康促進）、二次予防（早期発見・早期治療）、三次予防（再発防止）が横断的に関わります。

動物病院の日々の診療・治療のなかで愛玩動物看護師が関わる事例やタイミングも多くあるでしょう。予防医療を含めた皮膚・耳のケアの情報としてお役に立ていただき、犬の健康や飼い主様の幸せにつながるお手伝いできれば光栄です。

*今回の企画はページに制限があることから、犬に限定しています



■ 皮膚について

五臓六腑ということばをご存じでしょうか？

五臓とは心臓・肺臓・肝臓・腎臓・脾臓。

六腑とは胃・小腸・大腸・膀胱・胆嚢・三焦（上焦、中焦、下焦）を意味しています。

残念ながらこの中に皮膚は入っていません。

なぜならば五臓六腑という身体のすべてを包み込むのが皮膚だからです。

いわば皮膚は大きな風呂敷で、最も面積の広い臓器なのです。

執筆者



Nagata Masahiko

永田 雅彦

獣医師 / 獣医学博士 / アジア獣医皮膚科専門医

株式会社ASC 代表
合同会社 sasae 代表前日本獣医皮膚科学会 会長
アジア獣医皮膚科専門医協会 理事

■ 資格

Dipl AiCVD（アジア獣医皮膚科専門医）

